

ティーチング・ポートフォリオを活用した教育改善の可視化

教員の教育活動の振り返りを、学生の学びの質向上へつなげる取組

東京医療保健大学
学長戦略本部 IR 推進室
総務人事部

東京医療保健大学では、教育の質保証と教員の資質向上を目的として、ティーチング・ポートフォリオ (TP) を活用した教育改善の取組を進めています。TP は、教員の教育活動を振り返り、授業改善、FD 活動、内部質保証、学修成果の可視化につなげる教育業績ファイルです。

1. ティーチング・ポートフォリオとは

ティーチング・ポートフォリオ (Teaching Portfolio: TP) は、教員が自らの教育活動、教育理念、教育目標、授業設計、授業方法、学生の学修成果、教育改善への取組、自己省察等を記録し、教育活動を振り返るための教育業績ファイルです。本学では、TP を単なる記録や評価資料としてではなく、教員一人ひとりの教育改善を支え、学生の学びの質を高めるための仕組みとして位置づけています。

2. 本学における TP の位置づけ

本学の「ティーチング・ポートフォリオに関する要綱」では、TP を、教員個人の教育活動の振り返り、改善、向上を促すとともに、大学全体の教育の質保証に資する資料として活用することを定めています。

IR 推進室は、教学マネジメントを支えるデータ収集・分析、評価・企画・改善への提案、データに基づく教育改善の情報公表を担っています。TP は、授業科目レベルの改善を、学位プログラムレベル、大学全体レベルの内部質保証へ接続する基盤資料の一つです。

3. TP で可視化する教育活動

TP では、教員の教育活動を多面的に整理し、教育改善につながる情報として蓄積します。

項目	主な内容
教育理念・教育目標	教員が大切にしている教育観、学生に身につけてほしい力、授業を通じて目指す到達像
担当科目・授業設計	シラバス、科目の位置づけ、授業計画、教材、評価方法、学生への期待
授業方法・振り返り	アクティブ・ラーニング、ICT 活用、学生からのフィードバック、改善計画、改善策の実施状況
学修成果・FD 活動	学生の到達状況、成長事例、FD 研修への参加、FD 活動への貢献、教材開発、教育表彰等

4. 教育改善につながる運用の流れ

TP は、教員が作成して終わるものではありません。教員自身の振り返りを起点に、所属組織による確認、フィードバック、FD 活動、授業改善へと接続し、大学全体の教育の質保証に活用します。

1 記録する	2 振り返る	3 共有する	4 改善する	5 可視化する
教育理念・授業設計・学修成果等を整理	授業評価や自己省察を踏まえ課題を確認	所属組織で確認し、対話的に支援	FD 活動・授業改善・教材改善へ反映	内部質保証・情報公表・説明責任へ接続

5. IR NEWS として公表する意義

TP の取組を IR NEWS として公表することは、本学が教育活動の改善を組織的・継続的に進めていることを社会に示すものです。特に、学生の学修成果の可視化、授業改善、FD 活動、内部質保証を一体的に進める本学の姿勢を明確にできます。

なお、IR NEWS で公表する内容は、制度の目的、運用の概要、教育改善の方向性、好事例等を中心とします。個別教員の評価結果、学生の個人情報、授業評価アンケートの個別コメント等は公表対象とせず、教育改善と説明責任の観点から適切な情報公表を行います。

6. 今後の展望

今後は、TP を活用して得られた教育改善の知見を、FD 活動、授業設計の改善、学修成果の可視化、教育表彰、自己点検・評価、認証評価等に結びつけ、大学全体の教育の質向上を推進します。

また、各学部・学科・研究科における教育実践の工夫を共有することで、教員相互の学び合いを促進し、学生がより質の高い学修経験を得られる教育環境の整備を進めます。

IR 推進室からのメッセージ

東京医療保健大学は、データに基づく教育改善と内部質保証を重視し、学生の学びの質向上に取り組んでいます。ティーチング・ポートフォリオは、教員の教育努力を可視化し、授業改善と学修成果の向上へつなげる重要な仕組みです。IR 推進室は、教育改善に資するデータの分析・共有・公表を通じて、本学の教育の質保証を支えています。

関連資料

- ・東京医療保健大学 IR 推進室 <https://www.thcu.ac.jp/facilities/ir/>
- ・東京医療保健大学 ティーチング・ポートフォリオに関する要綱 <https://www.thcu.ac.jp/about/pdf/regulations/0606002.pdf>